

開講科目名	卒業研究		
担当教員	電気電子工学各教員	開講区分	単位数
		通年	10単位

授業のテーマと目標

学生が一つの研究室に一年間在籍し、指導教員の指導のもとで、研究動向の調査、研究テーマ・研究計画の策定、研究の遂行を行ない、研究とは何かを体得し、その面白みを理解する。

到達目標：

1. 各自の研究テーマについて、世界的な研究動向を把握する。
2. 研究成果を他人に分かりやすく説明できるよう、プレゼンテーション能力を高める。
3. 研究成果を卒業論文としてまとめる。博士課程前期課程への進学予定者は、卒業論文をまとめた後で、国内外での口頭発表や、国内外の論文誌への投稿等を行なうことが好ましい。

授業の概要と計画

電気電子工学の研究室は電子物理工学、電子情報工学、電気エネルギー制御工学いずれかの大学院に属し、多岐多様な分野の研究を進めている。また、研究の進め方も、実験主体、理論主体、計算機実験主体など、異なっている。配属された研究室が扱う分野や進め方に沿って、研究を行なう。

授業の進め方：

研究に必要な予備知識の習得、文献調査等を経て、研究のテーマを決め、研究を進めて行く。三年生までの受身の勉強から脱却して、自ら計画を立てて研究を進める必要がある。

成績評価方法と基準

次の三つの項目で総合的に評価する。

テーマの理解度

努力の傾注度

成果および卒業論文、発表会におけるプレゼンテーション

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

最近の情報はほとんど英語で書かれているので、高い英語の読解能力が必要である。また、「英語によるプレゼンテーション」を履修して発表の能力も向上してほしい。研究分野や進め方が自分に適した研究室を選ぶことが大切である。

オフィスアワー・連絡先

学生へのメッセージ

オリジナリティがなければ研究とは言えません。高いオリジナリティの研究とするにはどうしたらよいか常に考えていて下さい。

テキスト

本に書かれたものは研究としてはすでに古いものである。論文誌、国際会議の論文集、特許等、研究に関連した最新の情報を常に収集する必要がある。WEBを活用すれば多くの最新情報を集めることができる。

参考書・参考資料等